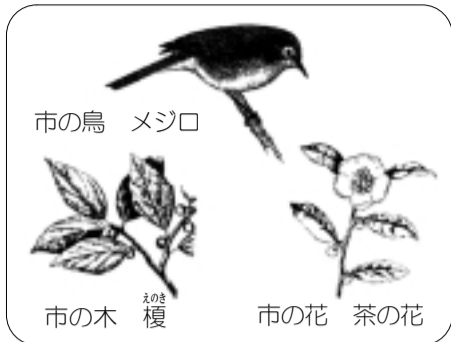


# 武蔵村山市 まがいたより



発行/武蔵村山市議会 〒208-8501 武蔵村山市本町一丁目1番地の1 ☎(042)565-1111

ホームページ <http://www.city.musashimurayama.tokyo.jp/gikai>  
メールアドレス [gikai@city.musashimurayama.tokyo.jp](mailto:gikai@city.musashimurayama.tokyo.jp)

## 第2回定例会

### 総合体育館・体育施設・市民会館の設置条例を一部改正

来年4月から管理を指定管理者に

平成19年第2回定例会は、6月13日から6月29日まで17日間の会期で開かれました。

この定例会では、今回提出された市長提出議案17件、議員提出議案16件、報告1件、提出1件、請願1件、陳情1件が、審議・審査されました。また、17人の議員が66項目について一般質問を行いました。



夏だ!! 祭りだ!!



### お知らせ

会議録及び議会だよりは、武蔵村山市議会のホームページでも見ることができます。そのほか、議会の概要や請願(陳情)書の書き方など掲載しておりますので、ご利用ください。

武蔵村山市議会

ホームページアドレスは、<http://www.city.musashimurayama.tokyo.jp/gikai>

29日(金)	第2回市議会定例会本会議(最終日)
"	横田基地の民間機利用促進等に関する調査特別委員会
27日(水)	建設委員会
26日(火)	議会運営委員会
"	交通対策特別委員会
25日(月)	総務文教委員会
21日(木)	本会議(一般質問)
20日(水)	本会議(一般質問)
"	議会運営委員会
19日(火)	本会議(一般質問)
18日(月)	本会議(一般質問)
13日(水)	第2回市議会定例会本会議(初日)
11日(月)	議会報編集委員会
"	会派代表者会議
5日(火)	議会運営委員会

### 議会日誌

学校教育について



田代 芳久 (新政会)

問 ①4月に実施された全国学力テストの市内各校の成績結果を伺う。②漢字の読み書きができない児童・生徒が急増している報道が多いが、わが市の対応を伺う。③いじめ、不登校の現状について伺う(小・中学校別件数)。

答 ①7月以降に文部科学省から結果が通知されると聞いている。②全小学校3・4年生を対象に、日本語能力検定協会が実施している検定を受検させ、目標をもって学習する態度の育成を支援している。また、各学校で定期的に漢字テスト等を実施し、読書活動を通して、漢字に日常的に触れる機会を多く持つなどの工夫をしている。③平成18年度はじめの認知件数は、小学校が44件、中学校が45件で、合計89件となっている。

質 問

弁であり、この後の再質問等の詳細について

おり、年度末で解消したものが70件、継続支援中が15件、他校への転学が4件となっている。また、不登校として30日以上欠席した者は、小学校が14人、中学校が90人、合計104人となっている。

問 《保育料の滞納について》①平成16年、17年、18年度の現年度分の滞納世帯数と滞納金を伺う。②今後の収納向上対策を伺う。

答 ①平成16年度は、滞納世帯44世帯、滞納額39万8千円、17年度は、71世帯、59万2千300円、18年度は、113世帯、1千47万5千900円である。また、収納率の向上対策は、平成18年度に長期滞納者など特に問題のある滞納者について、収納課へ22件の徴収依頼をし、うち14件がこれに応じ、29万5千580円の収入を得ている。

問 《財政運営について》①不動産等の未利用財産を見直し、売却、等価交換、有償貸し付け等をして活用する考えはあるか伺う。②受益者負担の適正化の観点から全公共施設の使用を有料化する考えはあるか伺う。

答 ①ほとんどの土地が形状・場所等の関係から、売却等に適さないものである。②第四次行政改革大綱では、負担の公平を図り、市民サービス全体を向上させるため、受益者負担の観点から、使用料、手数料等の額について、有料化を含め、継続的に見直しを行うこととしている。

問 《雨水対策について》一般市道第84号線(三ツ木2-30-5付近)と同第4号線、第186号線(岸1-9-12付近)の改修をして早急に雨水対策の実施を。考えを伺う。

答 今後、実施計画の中で検討していきたいと考えている。



多摩都市モノレール 関連事業について



波多野 征敏 (新政会)

問 ①関連の都市計画変更調査の進捗状況を伺う。②新青梅街道拡幅のための手続の進捗状況を伺う。

答 ①環境軸の実現に向けた具体的な整備計画の検討を進めるとともに、多摩都市モノレール市内延伸に関する調査等を実施していきたい。②引き続き関係者への要望活動を進め、今年度は、平成20年度の東京都予算に、新青梅街道整備に係る測量や調査に関する費用が計上されるよう強く要望を行っていききたい。

問 《子育て支援について》①わが市で保育料の未納があるのか伺う。②未納があるとしたら、どのように対処しているのか伺う。③待機児童数の現状と改善策を伺う。

答 ①平成18年度末で3千132万6千300円の滞納額が発生している。収納率の向上対策は、平成18年度に長期滞納者など特に問題のある滞納者に対して、収納課へ22件の徴収依頼をし、うち14件がこれに応じ、29万5千580円の収入を得ている。その他の滞納者については、所管課から督促、電話、戸別訪問等を行っており、本年度は更に両課の連携を密にし、収納率の向上に努める。

問 《安心、安全のまちづくり施策について》わが市で安心安全条例の制定ができないかを伺う。

答 市では東京都安全・安心まちづくり条例の基本理念を受けて、東京都、東大和警察署、防犯協会、自治会、防犯ボランティア等と連携を図り、安全・安心に暮らせるまちづくり活動に取り組んでおり、今後とも、

都条例における趣旨を十分認識し、必要な連携を図っていく。

問 《多摩開墾の農道の整備をできないか伺う》多摩開墾に江戸街道より入る道路は非常に劣悪であり、少しの雨水で難渋している。これの整備ができないか伺う(主第9号線、D第19号線、(主)第16号線)。

答 今後、直営等で対応を図っていききたい。

岸地区を縦断する 新道について



川島 利男 (新政会)

問 岸地区の東西道路は、主要市道第17号線が着々と工事が進んでいる。南北道路として市道第19号線(岸三丁目16番地付近)から主要市道第17号線(岸三丁目37番地禅昌寺付近)までの間を新道路整備事業としてお願いしたい。市の考えを伺う。

答 今後、道路計画等の中で検討していきたい。

問 《公園について》都市公園、児童遊園の数は73カ所と聞いている。公園の整備について伺う。①屋外の時計設置計画について伺う。②遊具の設置と現況。③砂場の砂の補充と消毒を行っているかどうか。

答 ①時計の設置状況は、都市公園に12基、児童遊園に2基設置している。時計の設置計画は、避難場等に指定されている公園もあることから、公園の便益施設として設置について検討していきたい。②都市公園等の遊具の状況については、遊具の安全に関する基準に基づき、専門業者による点検委託と職員の確認により、施設の安全管理に努めており、新たな遊具の設置は、実施計画の中で対応する。③砂場への砂の補充は、施設の巡回等で現地の状況を見ながら対応しており、消毒については、毎年すべての砂場の大腸菌検査を実施し、状況によって、速やかに抗菌砂を補充し、防疫の対応を図っている。

問 《市所有地について》空き地の利用と管理について、①中村プール跡地。②元バス折り返し場(中原)。

答 ①除草等により適切な管理を行うとともに、有効利用について研究していきたい。②定期的に除草等を行うなど適正な管理に努める。③定期的に草刈等を実施している。

住民税増税の影響と 市民救済策について



初山 敏夫 (日本共産党)

問 定率減税廃止で6月から住民税増税が家計を襲う。増税となる人員及び国保税、介護保険料、保育料などへの影響は。市は影響を受ける市民への救済策は考えているのか伺う。

答 定率減税廃止に伴い市民税に影響のある者は、2万9千271人で、国民健康保険税と介護保険料は、所得を算出根拠としていることから、定率減税の廃止による影響はないが、保育料は所得税額等を算出根拠としていることから影響が生じる。したがって、早期に保育料徴収基準の見直しに着手したい。

問 《校舎、体育館の耐震診断結果と今後の対応について》子どもたちが学び、住民の避難場所ともなる校舎、体育館の安全性と今後の対応を伺う。

答 平成18年度の耐震診断結果は、市立第五中学校の校舎が補強の必要なしと、13校の屋内運動場すべて補強が必要であると報告され、今後、耐震補強が未実施の小学校3校及び中学校2校の校舎とともに、屋内運動場の耐震補強も、実施計画の中で対応を図っていく。

問 《小・中一貫校について》①開設準備室が設置されたが、どのような動きをしているのか。②施設計画の見直し、ランニングコストなどの算出は。③保護者、市民への説明会はいくつ実施するのか。

答 ①平成19年2月に報告された「武蔵村山市立小・中一貫校基本計画原

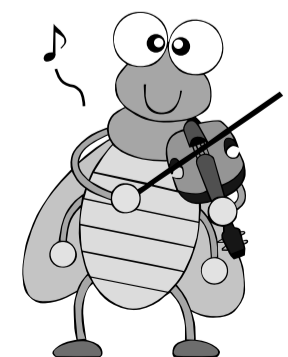
案」に基づき、施設一体型小・中一貫校の開設に向け、教科カリキュラム及び施設整備内容をより具現化した「武蔵村山市立小・中一貫校実施計画(仮称)」の策定を進めている。

問 《個人住宅の耐震診断、改修助成制度の見直し》制度はつくったが、利用者がいないという状況を打開するためには、対象条件と補助内容の見直しが必要だ。市の考えを伺う。

答 制度発足後の実績は、相談等の問い合わせが6件あったが、申請に至っていない。今後、国・都の動向や他市の状況も参考に、調査していきたい。

問 《ヘリコプター騒音について》多くの人から苦情が寄せられているヘリコプター騒音。市は飛行実態と被害状況を把握して対応すべきと思うが、把握の実態と今後の対応を伺う。

答 平成18年度におけるヘリコプターの騒音苦情は17件で、その都度、立川基地に対し口頭で要望を行っている。騒音等の把握は立川市が行っており、そのデータを提供していただくと、必要な連携を図っていききたい。飛行ルートの堅持等について、昨年7月28日陸上自衛隊立川駐屯地司令に対し要請し、今後もヘリコプター騒音に対する要望は、機会を捉え対応を図っていく。



# 般

掲載されている内容は、通告に対する当初の答  
ては、会議録をご覧ください。

## 一部事務組合の 報酬について



須藤 博  
(民主党)

**問** 一部事務組合に派遣される議員や、市長(理事者)に組合から報酬が支払われているが、①議員と理事者の組合別報酬年額(議長等の役職加算分は除外)。②報酬額が決められる仕組みは。③職務の一部での派遣に報酬が必要な意味は。

**答** ①本市の平成19年度の一部事務組合は6団体で、議員と市長の組合別報酬年額は、東京都市収益事業組合、議員12万円、理事1万2千円、小平・村山・大和衛生組合、議員15万6千円、副管理者24万円、湖南衛生組合、議員33万6千円、管理者51万6千円、昭和病院組合、議員42万円、理事42万円、東京たま広域資源循環組合、議員30万円、理事30万円、瑞穂斎場組合、議員8万円、副管理

者11万円である。②他の同種の一部事務組合の報酬額などを参考に、一部事務組合議会の議決を経て決定している。③一部事務組合は特別地方公共団体で、その議員の職務は、当該特別地方公共団体の職務であり、本市の議員の職務とは別の職務で、報酬はその職務の対価として支払われる。

**問** 《市長は明確な都市像の提示を》日産跡地開発を契機として本市の都市構造は大きく変わる可能性があり、総花的なまちづくり基本方針から脱却して明確な都市像を提示するべき時期と思うが、①都市開発か、自然や畑を守るのか、優先順序は。②日産跡地内に公共施設用地は確保できるのか。③学区や学校数の見直しの必要性は。

**答** ①「武蔵村山市まちづくり基本方針」の中で、進めていくことが位置づけられているが、平成16年以降、自動車工場跡地に大型商業施設が開業するなど、環境は大きく変化しており、今後は様々な土地利用の実態等を踏まえ、地域特性を生かしたまちづくりの検討を進めていく。②今年度設置予定の(仮称)榎地区まちづくり検討協議会等において、公共施設用地の確保など、跡地北地区を含めた地域のまちづくりの検討を進めていく。③本年度から(仮称)武蔵村山市立学校規模等適正化検討委員会」を設置し、学校を取り巻く環境の変化や学校規模等の現状について検証し、対応していきたい。

**問** 《財政面への市民参加について》市財政は厳しさを増す一方、資金需要は高まっている。市民募金や市民債など財政への市民参加を促す方策を検討すべきではないか。

**答** 自発的な寄付金という名目のもと、引き続き検討していきたい。市民債についても、地域住民の行政参加意識の高揚等の面で意義があるが、現在は低利な政府資金の借り入れ、公金預金の保護対策を兼ねた縁故債の借り入れを行っている。

**問** 《公共施設民営化の進め方について》①指定管理者制度等による民営化の予定。②経費削減効果の見込み額。③指定管理者へ移行した施設の評価は。④今後の職員の異動はど

うなるか。

**答** ①市民会館、総合体育館及び体育施設について、平成20年度の導入に向けて、準備を進めている。また、学校給食業務の委託について、本年度から担当職員を配置し、検討を進めている。②今後、準備事務を進める中で明らかにする。③のぞみ福祉園、温泉施設など16の施設で制度を導入し、おおむね順調に運営されている。④希望職場、活用して欲しい能力等の意向を把握するため、従来の自己申告書の提出を促し、この自己申告書等を総合的に勘案し、適材適所の職員配置をしていきたい。

**問** 《行政暴力について》全国的に行政暴力が多発しているが、本市では機関紙購読や入札等で類似の事例はないか。行政暴力への対応と今後の対策を伺う。

**答** 暴力団等からの機関紙購読依頼、入札参加等の不当要求行為等の事例はないが、行政対象暴力発生時の対応は、武蔵村山市市不当要求行為等対策要綱に基づき設置された不当要求行為等対策本部や各部に設置されている不当要求行為等対策委員会が中心となり対応し、事例によっては東大警察署等関係機関と連携して組織ぐるみで対応することとしている。

## 地域コミュニティの 再生について



高橋 薫  
(公明党)

**問** 地域コミュニティの核となるべき自治会は、加入率低下によりその役割を十分果たせなくなってきた。市は地域コミュニティの再生のために何が必要で、何ができると考えているか伺う。

**答** 自治会を中心として形成が図られており、自治会連合会等と連携し、自治会の活性化や加入率の向上に向けた対策を図り、地域コミュニティ活動の促進に努める。

**問** 《小学校を核にした地域コミュニティづくりについて》小学校ご

とに(仮称)地域コミュニティ運営協議会等を設置し、小学校を中心に地域コミュニティを形成し、地域の行事、学校行事等のきずなを深め、地域力と地域の教育力の強化を図れると考えるが、市の見解を伺う。

**答** 家庭・学校・地域との連携を図り、地域ぐるみの連携に努め、これまで推進してきた施策を充実させ、今年度開設した「放課後子ども教室」に、地域からサポーターとして協力をいただいている方々を核として、各学校に組織化されるよう努めていく。

**問** 《生涯学習センター建設について》長期総合計画⑩実施計画では、本年度計画することになっている。①その進捗状況について伺う。②どういう施設を目指すのか。③計画予定地はどこか。④予算規模はどのくらいかを伺う。

**答** ①②社会教育委員の研究課題に「武蔵村山市生涯学習センター(仮称)構想について」を設定し、中央公民館と中央図書館の機能を併せ持つ複合施設の建設を目指して、近隣の生涯学習センターの視察などを交えて、研究を行っている。③④計画予定地及び予算規模は、施設の概要等が具体化した時点で、関係部局と調整等検討していきたい。

**問** 《武蔵村山市地球温暖化対策実行計画について》①大きな効果を得るためには、市民の理解、協力が不可欠だが、市民へはどのようなアプローチを行うのか伺う。②自然エネルギー利用推進の取り組みについてどう考えているのか伺う。③道路、公園の照明についてはどう考えているのか伺う。

**答** ①市のすべての事務・事業を対象に、平成17年度の温室効果ガスの排出量を基準とし、平成23年度までに6%以上の削減をすることとし、各部署でその対応を図り、昨年12月に策定した「武蔵村山市環境基本計画」に基づき作成した、武蔵村山市環境行動指針の冊子を、本年9月に市内全世帯及び事業所に配布し、協力を求める。②施設改修等の機会を捉え、省エネルギー型の照明、空調機器の導入、太陽光発電等の自然エネルギーを利用する設備の導入など

推進を図っていく。③防犯・防災など市民生活の安心・安全の観点から対象外としているが、今後、省エネルギー型の照明器具への転換について検討していきたい。

## 介護保険未利用者に 商品券を



竹原 キヨミ  
(日本共産党)

**問** ①65歳以上の介護保険未利用者に商品券を。②介護予防サービスや地域支援事業の拡充で介護予防を。③介護保険でできないサービス(こみ出し、傾聴など)の充実について伺う。

**答** ①本年1月1日現在の65歳以上の高齢者人口は1万2千94人で、そのうち要支援・要介護認定を受けていない方は1万513人、86.9%で、介護保険を利用していない方も、将来介護が必要な状態となる可能性があることから、基本的には、介護保険制度の趣旨を理解いただくことが重要と考えている。②今年度から特定高齢者の候補者の選定要件が緩和されたことから、対象を拡大して事業を実施していく。③高齢者福祉サービスとして友愛訪問員事業をはじめ各種施策を実施している。

**問** 《後期高齢者医療制度などについて》①75歳以上を対象にした後期高齢者医療制度創設による広域連合運営及び事業の検討状況を伺う。②医療制度構造改革試案が及ぼす高齢者への影響、療養病床数を伺う。

**答** ①現在、広域連合で事業開始に向け事務処理体制の準備を進めている。今後は、健康診査等の保健事業や保険料の算定等の具体的な事項について検討されると考えている。②75歳以上で既に医療機関で生活習慣病予防の指導を受けている方は、必ずしも健康診査を実施する必要はないと考えられる。また、保健指導は、本人の求めに応じて、健康相談、健康教室の機会を提供できる体制の確保が重要と考えている。療養病床数

は、国の「地域ケア整備指針」を受け、都が作成する「地域ケア整備構想(仮称)」を見据えながら対応を図っていく。

**問** 《積極的な交通安全対策を》①四小歩道橋周辺の信号と横断歩道設置について、その後の見直しは。②緑が丘外周の各横断歩道は、音声の信号機に。また、横断に必要な時間延長を。③元日産正門前と三ツ藤東側つるかめランドの歩行者用信号機の改善を。

**答** ①東大警察署に確認したところ、基本的な考え方として歩道橋が存在する箇所には、横断歩道の併設はしないということが示され、歩道橋の管理者である東京都に確認したところ、当面は撤去しない方針であるとの回答である。②東大警察署に要望したところ、音声に起因する騒音問題等も予想されることから、設置については十分に検討する必要があるとのことである。信号機の周期の変更は、歩行者が横断する際必要な状況であれば、検討するとのことである。③都道武蔵村山立川線と主要市道第35号線の丁字路について、東大警察署に定周期信号機の設置について確認したところ、市道側の交通量が少ない等の理由から、設置は難しいとのことである。都道八王子武蔵村山線と主要市道第37号線との丁字路も、同様の趣旨であるとのことである。

**問** 《緑が丘地域と商店街について》①建て替え後の更地に都営住宅の建設を。また、5階建てにエレベーターの設置を。②団地中央商店会の活性化対策が必要と思うが。③駐車場について再度の働きかけをしているか。

**答** ①東京都に確認したところ、その後の建て替え計画は、創出用地の活用等を検討するため、見直したいとのことである。既存の5階建て中層住宅へのエレベーターの設置についても、設置基準により、対象から除かれているとのことである。②③商店会の活性化は、元気をさせ商店街事業の助成など、今後も支援していく。建て替え区域内への駐車場は、東京都から行政財産の目的外使用として、有償で市への貸し付けは可能であると聞いている。

積極的な子育て支援を



今野 篤 (日本共産党)

問 ①保育園の待機児解消について... ②昨年の定率減税半減により保育料の値上げになつたことに対する市の対応は... ③

問 《住宅リフォーム助成制度の継続を》地域経済の活性化に大いに役立つ... 問 《公共施設の有料化計画の撤回を》公共施設は、市民の活動が活発になるために重要であり、使用料を

取るという事は、市民の活動を消極的な方向に向かわせるものと考え... 市役所の組織改正について

問 《市役所の組織改正について》平成20年度に行う予定の市役所内の組織改正によって、市民サービスに

問 《公園整備について》①雷塚公園、さいかち公園に時計の設置の要望があるが、対応を伺う... ②児童遊園に鉄棒の設置の要望があるが、現状について伺う

問 《道路整備について》歩行者の安全対策上、以下の点について伺う... ①都道55号線(日産通り)の新青梅街道北側歩道の拡幅を... ②主要市道10号線(学園二丁目41番地から51番地付近)の歩道の整備を...

村山団地建てかえ跡地活用について



吉田 篤 (公明党)

問 ①第3期跡地利用について、周辺商店街等より駐車場として利用したいとの要望があるが、現状を伺う... ②第4期跡地利用について、現状を伺う

問 《公園整備について》①雷塚公園、さいかち公園に時計の設置の要望があるが、対応を伺う... ②児童遊園に鉄棒の設置の要望があるが、現状について伺う

問 《都営村山団地再生計画について》①都営村山団地4期、5期再生計画について... ②閉鎖のままの住宅空き地を長期間放置しないこと... ③平成17年10月3日付、商工会会長、

職員の人事異動について



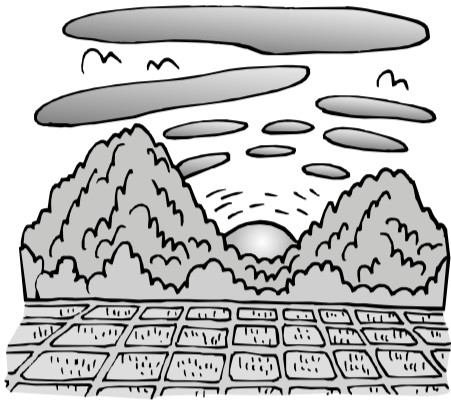
藤野 勝 (政和会)

問 《放課後子どもプランについて》放課後子どもプラン推進の現状について伺う... 平成19年度は、「放課後子ども教室」のモデル事業として、5月21日から児童クラブが校内にない市立第四小学校に開設し、6月11日から児童クラブを併設する市立雷塚小学校に開設した。なお、現在の申込者数は、市立第四小学校で、265人中128人、市立雷塚小学校では、398人中96人となっている。今後、このモデル事業で明らかとなった課題を解決しながら推進していく。

問 人事異動は昇給、昇格と並び、職務意欲の向上や市民サービスに深くかかわるものである。そこで伺う... ①人事異動の目的及び異動基準について... ②職員アンケートの異動希望達成率について... ③現在の病欠欠勤職員数について... ④職員の人事異動は、人事管理の適正化に努めるとともに円滑な事務事業の促進を図るため実施しており、管理職以外の全職員を対象に、希望職場、活用して欲しい能力等の意向を把握するため、年1回、自己申告の提出を促し、この自己申告書、現部署での所属年数等を総合的に勘案し、適材適所の職員配置を実施している。平成18年度の人事異動について、自己申告書により異動を希望した職員が実際に異動した割合は、51.8%である。平成19年6月11日現在で、病欠欠勤をしている職員は、4人である。

問 《商店並びに商店街の活性化について》①市内各所でシャッターが閉まっているお店が目につく。その実態を市は把握しているか。また、その対策について... ②MMスタンプ等で市税や給食費、保育料等の公共料金の納付について... ③議員、理事者、職員の期末手当等の一部を市内の商店で利用できる商品券の発行について。

問 《市内観光の拠点づくりを》①市民、近隣住民に大変親しまれ、愛されりピーターも増えているかたくり温泉と狭山丘陵を中心とした一大観光スポットをつくり上げていくべきと思うが、市の考えを伺う... ②市立第一給食センター跡地に道の駅を整備し、地場産物の育成と販売促進並びにかたくり温泉との相乗効果を図る計画は... ③他市に誇れるフラワーパークの整備について... ④当該地域は貴重な観光資源であり、引き続き観光ガイドの養成など、内外にアピールしていきたい... ⑤「道の駅」の設置については、施設の構成基準(1)適切な位置にあること... (2)20台以上の無料の駐車場があること... (3)概ね10基以上のトイレの設置があること... (4)情報案内コーナーが備わっていること... (5)駐車場・便所・電話は24時間利用可能であること... (6)案内員を配置すること... となっており、これらの条件をクリアすることは、非常に難しいと考えている... ③用地の確保等、課題もあることから、貴重な提言として受け止めたい。



カルガモの親子(残堀川)



中藤公園について



大原 明彦 (政和会)

問 東京都より広域公園として指定されている中藤公園の現状と今後の計画について伺う。当該公園は、市として野山北・六道山公園と比してどのような位置づけとされているのか。

答 平成5年12月2日付で東京都により都市計画決定がされ、計画面積は約57・7ヘクタールで、東京都において、都市整備用地先行取得制度の活用により、現在、約13ヘクタールの用地が都市計画施設として取得されているが、現状では、東京都の財政事情もまだ厳しい折、その後の用地取得は難しい状況と聞いている。一方、野山北・六道山公園については、昭和48年に都市計画決定がされ、昭和62年11月には東京都を施行者として事業認可を取得し、園路整備を始めとして、里山民家等も建設され、鋭意、整備が進められている。本市としては、中藤公園の用地取得の復活と、現在整備中の野山北・六道山公園と一体的に活用できるように、早期事業化について、引き続き東京都に要望していきたい。

問 《教育用パーソナルコンピューターの利用について》小・中学校に配備されている教育用パーソナルコンピューターは、地域住民に対しても利用できる状況にあると考えるが、現状ではどのような施策がなされているのか。

答 教育用コンピューターの導入整備に当たっては、あくまでも小・中学校児童・生徒の利用を前提とした内容で整備を行っており、このため、ソフトウェアのライセンス契約についても学校向けとなつているなど、地域住民の方に対する活用目的を持った内容となっていないのが現状である。



さわやか野球教室(巨人軍)

米軍再編について



天目石 要一郎 (清流)

問 米軍再編特別措置法では、賛成する自治体に再編交付金が支給される。規模は約1千億円とのことである。①米軍再編に対する市の姿勢は。②交付金はどの程度見込めるか。

答 ①在日米軍の再編に伴う横田基地への航空自衛隊航空総隊司令部の移駐については、市においても、横田基地の軍民共同使用による地域の活性化、多摩都市モノレールの市内延伸の加速化など、まちづくりを促進する機会となることから、昨年3月28日開催の全員協議会において、容認の表明を行った。②再編交付金の算定は、本年秋ごろに決定すると聞いている。

問 《御料車の払い下げを》皇室が長年使われた御料車日産プリンスロイヤルが引退となる。村山工場の歴史を語り継ぎ、まちの活性化のために払い下げてもらったらどうか。

答 宮内庁に確認したところ、現在下げ渡しの予定はないとのことであるが、今回要望があったことを記録に留めておくとのことである。

小・中学校体育館の整備について



高橋 弘志 (公明党)

問 ①体育館を利用する児童・生徒、市民の安全を守るため、第七小学校体育館の床整備を早急にすべきである。②市内小・中学校の整備状況について伺う。

答 ①現地確認したところ、床面の一部に損傷が見受けられたので、今後、修繕対応していく。②毎年策定の実施計画の中で、使用状況や経年劣化等を確認の上実施している。

問 《道路整備について》①通学路である主要市道第71号線(大南二丁目96番地から102番地付近)の道路整備を早急にすべきである。②主要市道第35号線(大南中央児童遊園出入口付近)にガードレールを設置し、安全対策を図るべきである。

答 ①今後、実施計画の中で検討していく。②当該箇所については、自動遊園の出入り口にあたるので、維持管理の都合上、固的な車止めを設置することは困難な状況にあることから対策を検討していきたい。

問 《防犯対策について》大南四丁目主要市道第84号線の夜間街灯を明るくする等の防犯対策を図るべきである。

答 当該道路の防犯灯については、電柱の共架で等間隔に設置されている。照度不足については、今後検討していきたい。

問 《中央図書館建設について》①中央図書館建設計画について伺う。②武蔵村山市民が、東大和市図書館の利用、貸し出しができるかどうか伺う。

答 ①第3次長期総合計画の後期基本計画に、中央図書館及び中央公民館の機能を併せ持つ複合施設として、生涯学習センター(仮称)の整備事業が計画されているので、今後、その中で検討を進めていきたい。②東大和市においては、運営面等の諸事情もあることから少し時間をかけて取り組んでいきたいとのことであり、相互利用については、今後とも引き続き努力を重ねたい。

行財政改革について



善家 裕子 (清流)

問 ①市の財政構造研究会で議論された内容、方向性、方法論と結論は。②包括予算制度の導入時期とその内容は。③職員の能力評価、人事の適正化は。

答 ①この研究会では、本市を取り巻く環境や、本市の昭和63年度から平成14年度までの財政構造を分析し、本市の財政状況を明らかにし、財政の健全化策について、研究を行った。②平成19年度予算から「枠配分方式」を導入し、経常経費の縮減や各部の責任と判断による市民ニーズに対応した事業の選択、事業に対するコストの意識の向上など、職員の意識改革を図った。③職員の昇任・昇格の際に、所属の管理職により、勤務の業績、能力、態度等についての勤務成績の評価を行っており、今後は、職員の業績、職務遂行能力、仕事に対する取り組み姿勢等を全庁的・定期的に評価する人事考課制度の導入について、平成20年4月を目途に制度構築作業を進めている。また、職員の人事は、管理職以外の全職員を対象に、希望職場、活用して欲しい能力等の意向を把握するため、年1回、自己申告書の提出を促し、申告書、現部署での所属年数等を総合的に勘案し、適材適所の職員配置を実施している。

問 《ごみ収集業者との契約について》①平成19年度の契約はどのような方法で行われたのか。②契約金額の削減は図られたのか。その積算根拠は。③過去5年間(平成14年度から18年度まで)の過積載の有無と市の対応は。

答 ①平成19年度の契約はどのような方法で行われたのか。②契約金額の削減は図られたのか。その積算根拠は。③過去5年間(平成14年度から18年度まで)の過積載の有無と市の対応は。

問 《ごみ減量化施策について》ごみゼロ作戦を図って10年余になるが、①家庭排出ごみ、事業系持ち込みごみ量のこの間の推移と減量目標達成度は。②具体的な削減目標と数値は。③市民各層を巻き込んだごみゼロ作戦は。

答 ①ごみゼロを目指したまちづくり基本計画では、排出物原単位目標値を市民一人当たり1日850g以下としており、平成15年度は955・3gで、達成率は89%、16年度は947・6gで、達成率は89・7%、17年度は925・8gで、達成率は91・8%、18年度は921gで、達成率は92・2%となる。持ち込みごみ量の目標値は年1千467トンとしており、平成15年度は1千949トン、達成率75・3%、16年度2千453トン、達成率59・8%、17年度2

関する法律第6条の2第2項及び同法施行令第4条の規定により、前年度と同様、2者との間で年間契約を締結した。②村山団地分の1世帯当たりの契約単価は、平成18年度では960円、19年度では932円、28円の減額で、率はマイナス2.8%となる。また、団地外の1世帯当たりの契約単価は、18年度では1千422円で19年度では1千131円で、291円の減額で率はマイナス20.5%となる。また、予算の積算は昨年同様、収集品目ごとの必要車両数を算出し、車両1台当たりの原価計算を行い、総予算額を算出している。18年度収集委託料の予算額は3億5千300万8千円に対し、19年度は3億4千735万7千円、565万1千円の減額で、率は2.2%である。③小平・村山・大和衛生組合に確認したところ、平成14年度及び15年度の搬入日報は、文書管理規定に基づき、廃棄処分としたとのことであり、16年度は、一般家庭ごみの収集車で延べ10台、事業系ごみで5台、17年度、一般家庭ごみで延べ14台、事業系ごみで延べ4台、18年度一般家庭ごみで延べ13台、事業系で4台、3年間で一般家庭ごみが延べ37台、事業系で延べ13台であった。市の塵芥収集業務委託業者及び一般廃棄物収集運搬許可業者に対し、文書で再発防止の指導を行い、さらに、市の塵芥収集業務委託業者については、口頭注意と始末書提出させた。



縄文土器を体験

千967トン、達成率74・6%、18年度は2千67トン、達成率71%となる。その他の目標値は、収集ごみ原単位で一人当たり1日750g以下、リサイクル率で33%以上、最終処理量で年1千970トン以下と設定している。③今後も「ごみゼロ」を目指したまちづくり基本計画に基づき、施策を推進していく。

問 《小・中一貫校開設について》①四小と二中の小・中一貫校開設の提案について、市教育委員会の見解は。②3月に構想が示され、9月には実施設計委託計画であるが、急ぐ理由は。③具体化するならプロポーザル方式で行うべきでは。

答 ①小・中一貫校とすることで、義務教育9年間で継続的な指導を展開し、児童・生徒の個に応じた指導を充実し、小学校から教科担任制を取り入れる等、創意工夫を生かした教育を展開し、両校が小・中一貫校となり、本市の他の小・中学校に対する小・中連携教育の発信校となるという点で、大変意義があると考えている。②平成19年2月に報告された「武蔵村山市立小・中一貫校基本計画原案」では、3年後の平成22年4月を小・中一貫校の開設予定としており、工期日程を勘案すると本年9月には実施設計委託が必要となる。

③開設に当たっては、「武蔵村山市立小・中一貫校基本計画」についての説明会等で、保護者や市民からも意見を聞きながら取り組んでいく。

市内循環バスについて



濱浦 雪代 (公明党)

問 ①村山団地は建てかえ事業により300台、400台、500台号棟の居住者の方が団地南側に移転をしている。そのため交通手段に不便を来している面がある。東ルートは一部団地入り口から江戸街道を通るコースが必要と思われる。市の考えを伺う。②高齢者の方がもっと総合体育館まで利用できるような市民総合体育館まで乗入れるべきであると思うが、市の考えを伺う。③武蔵村山病院東バス停に屋根といすの設置を望む声がある。市の考えを伺う。

答 ①〜③本年5月30日に市民、学識経験者、識見を有する方々等て構成する「市内循環バス検討協議会」を設置したところであり、今後質問の趣旨等を含め、検討していく。

問 《小・中一貫校について》武蔵村山市の教育改革の一環として小・中一貫校の導入に期待をしている。その際、カリキュラム等内容の充実と、最少のコストで最大の効果が得られるような施設の整備を望むが、その後の検討状況について伺う。

答 平成19年5月18日に市立第四小学校及び市立第二中学校の校長等を委員とする「武蔵村山市立小・中一貫校カリキュラム作成委員会」を設置し、市内全校の54名の教職員からなる各教科・領域等14部会を組織し、小・中一貫校としての特色が表れる教科カリキュラムの原案を作成することとしている。施設の整備についても、最少のコストで最大の効果が得られるよう、経費節減、改築中の教育活動への配慮、学校の希望等の観点から、「武蔵村山市立小・中一貫校基本計画原案」における施設整備について、調整を図っている。

問 《自転車の交通安全対策について》①小学生は、自転車運転免許証制度を取り入れ交通安全教育の取り組みがなされていると思うが、現状

と効果について伺う。②中学生、高校生を対象に拡大ができないか伺う。

答 ①平成17年度から毎年1回、東大和警察署等の協力を得て、各学校が主体となり4年生以上を対象に安全講習と筆記・実技試験を行い、合格者に対し免許証とシールを交付している。この取り組みは子どもたちも楽しみながら、自転車に乗る際の正しい交通ルールやマナーを習得することができる良い機会となっていることから、今後も実施していく。

問 《本市の全部の中学校で、セーフティ教室の中で自転車の乗り方に対するマナーについて指導を行った経緯もある。今後、自転車運転免許証交付事業を中学生、高校生に広げることが難しいが、セーフティ教室などの機会を捉え啓発していきたい。

問 《都宮村山団地について》①3期地区建てかえ住棟の空き室と4期地区建て替え住棟について、戸数、入居時期、対象者について伺う。②移転後の跡地利用について伺う。

答 ①第3期地区建て替え住棟の空き室は、約220戸、第4期1の建設個数は166戸で、入居時期は平成20年12月ごろで、入居対象者は、中層住宅の居住者を予定しているとのことである。②東京都に確認したところ、その後の建て替え計画は、創出用地の活用等を検討するため、見直しをしたいとのことである。

問 《日産跡地について》①D1(東側)3.8ヘクタールの現況について伺う。②庁舎等公共施設の建設地としての可能性について伺う。③その他の空き地の現状について伺う。

答 ①今年度設置予定の(仮称)榎地区まちづくり検討協議会等において、庁舎等公共施設の建設地としての可能性等、跡地北地区を含めた地域のまちづくりの検討を進めていくとともに、開発負担に相当する土地について、宗教学法と協議を進めていきたいと考えている。③平成19年4月27日付広資料第16号でお知らせしたとおり、まちづくり方針B地区南側の約2.5ヘクタールについて、日産自動車(株)からダイヤモンドシティへ、所有権が移転したとのことである。

問 《がん対策について》①現在武蔵村山病院に放射線治療センターが開設されているが、専門医等のがん対策の充実を図るべきである。②PET検査に助成制度をすべきである。

緑が丘ふれあいセンター

保育室について



沖野 清子 (公明党)

問 現在乳幼児一緒に保育されているが、危険であり、事故にもつながる。乳児用ベッドを設置すべきと思うが、対応を伺う。

答 保育室については、コミュニティセンター及び男女共同参画センターを利用する方が、乳幼児の保育が必要な場合に利用し、利用者責任で運営することになっており、乳児用ベッドの設置については、現在の利用状況も踏まえて、指定管理者と調整、検討する。

問 《空堀川の整備について》現在空堀川の中藤二丁目16番地から19番地の間、擁壁が整備されていない。早急に対応すべきである。対応を伺う。

答 当該箇所については、蜚や水生昆虫が生息できるような、自然のままの状態を残すべきとの意見もあることから、整備の方法等については、今後も検討を重ねていきたい。

問 《妊婦健診について》母子を守るため健診は不可欠である。現在は4回まで無料化されているが、健診回数を拡充すべきである。

答 妊婦健診は、東京都が制度化し、市町村が経費を負担して実施している妊娠前期(23週)までに1回と妊娠後期(24週以降)に1回の利用が可能を受診の他に、平成18年10月から少子化対策の一環として、新たに2回分を市独自で補助を行っている。今後は、平成19年1月16日付で厚生労働省より、望ましい健診のあり方として、5回という回数が見込まれ、これを受け東京都からも方針が示される予定であるので、それを受け対応を図っていきたい。

問 《がん対策について》①現在武蔵村山病院に放射線治療センターが開設されているが、専門医等のがん対策の充実を図るべきである。②PET検査に助成制度をすべきである。

問 《がん検診連携拠点病院》は二次医療圏に1病院程度と定められており、近くは東大和病院が指定されているとのことである。主として、東大和病院は手術や科学療法を担い、武蔵村山病院は放射線治療とPET検査というように、両病院の特徴を生かし連携して、がん対策の診断、治療体制をとっており、放射線治療センターには専門医を配置し対応しているとのことである。②各種がん検診については、従来より国の指針に基づき実施しているが、平成20年度から医療制度改革に伴い、新たに健康増進法の中にかん検診が盛り込まれることから、実施体制の見直しや制度面での強化等も必要があり、今後、国が示す指針等の動向を見ながら、がん検診の更なる充実を図っていきたく考えている。

問 《介護予防について》①筋力トレーニング室が現在2カ所設置されているが、今後の取り組みについて伺う。②現在健康クラブが総合体育館で行われているが、今後の拡充について伺う。

答 ①今年度から特定高齢者の候補者の選定要件が緩和され、事業の対象者が増加することが予想されるので、その際に適切な対応を図っていく。②現在、参加者の増加等に伴い、年間を通じて同じ内容のプログラムで日ごろの運動不足等の解消を目的とした「いきいきコース」と、様々なプログラムをもとに健康の維持増進等を目的とした「エンジョイコース」の2つのコースを設定し、参加者のニーズに合った内容で実施している。来年度より、総合体育館の管理運営が指定管理者に移行する予定となっていることから、今後、事業内容について指定管理者と協議していきたく。

問 ①教育長の基本姿勢を伺う。②小学校教育と中学校教育の最重要課題を伺う。③学校、保護者、地域との良好な関係を築く方策について伺う。

答 ①ヒトは教育によって初めて人となり得ると考えており、生涯を通じての豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期し、わが国そしてわが町、地域の文化・伝統を尊重し、これからの国際社会に生きるための未来を切り拓く教育を推進していく。具体的には、武蔵村山市教育委員会教育目標にあるように、「子供達が、知性、感性、道徳心、体力を育み、人間性豊かに成長することを願い」学校教育・生涯教育のそれぞれの分野において、「第二次教育推進プラン」に基づいて、一つ一つの施策を確実に推進し、その成果を示していくことが大切であると考えている。②児童・生徒に自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力の基礎を身に付けさせることであることと、第一には、家庭・地域・学校の連携のもとに、すべての教育活動を通じて児童・生徒の「豊かな心」を育てる教育の充実を図っていく。特に、人権教育の充実を図り、いじめを絶対に許さない指導を徹底すること。第二には、様々な施策を通じて、児童・生徒の学力向上策を着実に推進していく。また、教員の資質や授業力の向上を目指した研修を意図的・計画的に実施する。第三には、運動を重視し、児童・生徒の体力向上や健康増進策を推進する。各学校で、体力テストの結果に基づいて体育授業を改善するとともに、日常の体育活動の充実を図る。

問 《交通問題について》右折車による交通渋滞が見られるが、中砂大橋交差点の右折車線の早期実現とその時期を伺う。

答 本年3月28日の供用開始に合わせ、都道59号線の西側の主要市道第12号線の交差点拡幅部分の用地取得を進めているが、早期の用地取得が困難であることから、交通管理者と協議の結果、暫定的に供用を開始したもので、今後、土地所有者との交渉を積極的に進め、右折斜線の設置が可能となるよう努めていく。

問 《残堀橋について》残堀橋近くにあるこの榎は、古くから残堀地域住民に親しまれてきた巨木であり、保存を望む声が多い。環境を整備し保存に努めるべきだと思うが、市の考えを伺う。

答 残堀榎は、一部民地にあることから、影響範囲を含め、地権者から土地を譲り受け、道路管理の中で保存に努める計画である。

教育について



金井 治夫 (新政会)

問 ①教育長の基本姿勢を伺う。②小学校教育と中学校教育の最重要課題を伺う。③学校、保護者、地域との良好な関係を築く方策について伺う。

答 ①ヒトは教育によって初めて人となり得ると考えており、生涯を通じての豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期し、わが国そしてわが町、地域の文化・伝統を尊重し、これからの国際社会に生きるための未来を切り拓く教育を推進していく。具体的には、武蔵村山市教育委員会教育目標にあるように、「子供達が、知性、感性、道徳心、体力を育み、人間性豊かに成長することを願い」学校教育・生涯教育のそれぞれの分野において、「第二次教育推進プラン」に基づいて、一つ一つの施策を確実に推進し、その成果を示していくことが大切であると考えている。②児童・生徒に自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力の基礎を身に付けさせることであることと、第一には、家庭・地域・学校の連携のもとに、すべての教育活動を通じて児童・生徒の「豊かな心」を育てる教育の充実を図っていく。特に、人権教育の充実を図り、いじめを絶対に許さない指導を徹底すること。第二には、様々な施策を通じて、児童・生徒の学力向上策を着実に推進していく。また、教員の資質や授業力の向上を目指した研修を意図的・計画的に実施する。第三には、運動を重視し、児童・生徒の体力向上や健康増進策を推進する。各学校で、体力テストの結果に基づいて体育授業を改善するとともに、日常の体育活動の充実を図る。

問 《交通問題について》右折車による交通渋滞が見られるが、中砂大橋交差点の右折車線の早期実現とその時期を伺う。

答 本年3月28日の供用開始に合わせ、都道59号線の西側の主要市道第12号線の交差点拡幅部分の用地取得を進めているが、早期の用地取得が困難であることから、交通管理者と協議の結果、暫定的に供用を開始したもので、今後、土地所有者との交渉を積極的に進め、右折斜線の設置が可能となるよう努めていく。

問 《残堀橋について》残堀橋近くにあるこの榎は、古くから残堀地域住民に親しまれてきた巨木であり、保存を望む声が多い。環境を整備し保存に努めるべきだと思うが、市の考えを伺う。

答 残堀榎は、一部民地にあることから、影響範囲を含め、地権者から土地を譲り受け、道路管理の中で保存に努める計画である。

問 《残堀橋について》残堀橋近くにあるこの榎は、古くから残堀地域住民に親しまれてきた巨木であり、保存を望む声が多い。環境を整備し保存に努めるべきだと思うが、市の考えを伺う。



今年も頑張りました(栄村縦断駅伝大会)

# 可決した議案

## 第二回定例会

### 条例

▼武蔵村山市体育施設設置条例の一部を改正する条例  
武蔵村山市体育施設の管理を指定管理者に行わせるもの。

▼武蔵村山市議会議員及び武蔵村山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例  
公職選挙法の一部改正により、新たに市長の選挙において頒布するこ

▼武蔵村山市総合体育館設置条例の一部を改正する条例  
武蔵村山市総合体育館の管理を指定管理者に行わせるもの。

▼武蔵村山市税賦課徴収条例の一部を改正する条例  
地方税法の一部改正に伴い、市民税の納税義務者等に法人課税信託に係る規定を加え、個人の市民税の課税の特例を改め、併せて規定を整備するもの。

▼武蔵村山市民会館設置条例の一部を改正する条例  
武蔵村山市民会館の管理を指定管理者に行わせるもの。

▼武蔵村山市児童遊園条例の一部を改正する条例  
児童の健全な遊びの施設の充実を図るため、新たに学園四丁目西児童遊園及び伊奈平四丁目児童遊園を設置するもの。

▼武蔵村山市都市計画税条例の一部を改正する条例  
地方自治法の一部改正に伴い、規定を整備するもの。

▼平成19年度武蔵村山市一般会計補正予算(第2号)

### 予算

補正額2千272万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を220億8千252万8千円とするもの。

一般市道B第182号線（大南一丁目121番地先から大南一丁目121番地先）を市道路線として認定するもの。

▼平成19年度武蔵村山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)  
補正額95万円を追加し、歳入歳出予算の総額を70億7千973万3千円とするもの。

▼市道路線の認定について  
一般市道C第135号線（三ツ藤二丁目10番地先から三ツ藤二丁目10番地先）を市道路線として認定するもの。

▼平成19年度武蔵村山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
補正額5億2千116万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を23億4千297万4千円とするもの。

▼市道路線の認定について  
一般市道D第251号線（一般市道D第253号線（伊奈平四丁目18番地先から伊奈平四丁目18番地先）を市道路線として認定するもの。

▼平成19年度武蔵村山市老人保健特別会計補正予算(第1号)  
補正額3千747万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を36億6千836万7千円とするもの。

▼市道路線の廃止について  
一般市道C第128号線（伊奈平三丁目2番地先から伊奈平三丁目5番地先）を廃止するもの。

### 道路

▼市道路線の認定について  
一般市道B第178号線（一般市道B第181号線（学園四丁目3番地先から学園四丁目3番地先）を市道路線として認定するもの。

### 人事

▼監査委員の選任について  
任期満了に伴い、後任の委員を選任するもの。

### その他

▼繰越明許費繰越計算書について

▼武蔵村山市土地開発公社の経営状況

### 意見書

況を説明する書類の提出について  
この定例会で、次のとおり意見書4件を可決し、関係機関へ提出しました。

### 請願・陳情の審議結果

▼中学3年生までの医療費無料化の速やかな実施を求める意見書  
この定例会における請願・陳情の審査結果は、次のとおりです。

### 採択となったもの

▼異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化、拡充を求める意見書  
▼「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の延長に関する陳情

▼冤罪を防止するための司法制度の抜本的改革を求める意見書

◇建設委員会  
▼主要市道13号線の整備に関する請願



まちどおしい「村山デエダラまつり」(物産展)

意見の分かれた議案等								
第2回定例会								
案 件	会派 (五十音順)	公明党 (5人)	新政会 (6人)	清 流 (2人)	政和会 (2人)	日本共産党 (3人)	民主党 (1人)	議決結果
武蔵村山市議会議員及び武蔵村山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	×	可決
消えた年金問題被害者への速やかな保証を求める意見書		×	×	○	×	○	○	否決
冤罪を防止するための司法制度の抜本的改革を求める意見書		○	○	○	×	○	○	可決
消えた年金問題を国の責任で直ちに解決し、社会保険庁解体・民営化法案の廃案を求める意見書		×	×	×	×	○	○	否決
自衛隊による違憲・違法な国民監視活動の中止を求める意見書		×	×	×	×	○	×	否決
庶民増税を中止し、空前の利益を上げる大企業と大資産家に応分の税負担を求める意見書		×	×	×	×	○	○	否決
貧困と格差の解消へ向け、効果的施策の実施を求める意見書		×	×	×	×	○	×	否決
最低賃金の引き上げを求める意見書		×	×	×	×	○	○	否決
応益負担の撤回を初め障害者自立支援法を見直し、障害者施策を拡充することを求める意見書		×	×	○	×	○	○	否決
国民の生存権を保障する制度としての生活保護の拡充を求める意見書		×	×	×	×	○	×	否決
後期高齢者医療制度について、高齢者の生活実態と意向に十分に配慮した仕組みとすることを求める意見書		×	×	×	×	○	○	否決
後期高齢者医療制度への国庫負担引き上げを求める意見書		×	×	×	×	○	○	否決
中学3年生までの医療費無料化の速やかな実施を求める意見書		○	○	○	×	○	○	可決
都営住宅の使用承継制度の変更を中止し、現行制度の継続を求める意見書		×	×	×	×	○	×	否決
事務所費問題の実態を国会議員と閣僚がみずから明らかにすることを求める決議		×	×	○	×	○	○	否決

※（ ）内の数値は、会派所属議員数を示す。ただし、公明党については、議長を除いた数である。

会議録をどうぞ

議会だよりは、紙面の都合により発言の一部や要旨のみを掲載しています。

会議の詳しい内容については、ホームページで検索するか、市内の各図書館や市役所1階の市政情報コーナーのほか、5階の議会事務局に備えてあります会議録をご覧ください。

声の議会だより

目の不自由な方に「声の議会だより」(60分程度のテープ)をお届けしています。ご家族やお知り合いでご希望の方がおられましたら、ご連絡ください。

写真差し上げます

議会だよりには、あなたの写真が写っていませんか、電話又はファックスにてお申し込みください。無料で写真を差し上げます。

なお、発送は10月初旬ごろになります。

- ファックス番号 (564) 0788
- 申込受付期間 発行の日から1か月以内
- 武蔵村山市本町一丁目1番地の1 市役所・議会事務局

議長の行事トピックス



議長 宮崎 起志

〈6月〉

- 5日(火) 東京都市区議会議長会理事會・総会
- 6日(水) 関東市議会議長会第2回理事会・総会
- 7日(火)

◇問い合わせ

市役所 042(565) 1111  
議会事務局 内線512

次の市議会定例会（平成19年第3回）は

9月3日（月）に招集される予定です。

▽傍聴はお気軽にどうぞ。

傍聴を希望される方は、当日、議会事務局（市役所5階）へお申し出ください。

※車椅子での傍聴もできます。（障害者用トイレも設置されています。）

※会議は、通常午前9時30分から始まります。

